学金連携システム研究会

~ 2011年活動実績と今後 ~

産学連携学会学金連携システム研究会

小野浩幸¹、石塚悟史²、伊藤正実³、〇内島典子⁴、大塩誠二5、加藤博良¹,6、川﨑一正7、川名優孝8、北村寿宏9、城野理佳子¹0、鞘師守⁴、 塩川真澄11、白澤司朗12、高澤由美1、田口幹13、丹治惣兵衛14、野瀬真治15,16、藤原貴典15、森川茂弘17、矢島治夫18、山村正明10、渡辺裕1,12 (山形大学1、高知大学2、群馬大学3、北見工業大学4、徳島大学5、米沢信用金庫6、新潟大学7、東京海洋大学8、島根大学9、北海道大学10、 芝浦工業大学11、荘内銀行12、電気通信大学13、福島大学14、岡山大学15、トマト銀行16、秋田大学17、工学院大学18、宇都宮大学19)

目的

全国各地での

2008年9月発足 会員22人(19機関) 会員は全国に分布

活動

2011年度の活動

生場活動事例の集約 大学と金融機関との 全国各地の

ンステム化のあり方を検討 ットをもたらすための金の双方の本体業務に

効果的な推進へ学金連携の モデルを構築 検討

研究会活動 第6回

日程: 平成23年6月15日(水) 会場:佐賀市アバンセ 第4研修室

講演会実施

·「平成22年度東北経済産業局

産学官金連携調査結果の概要について」 講師:株式会社大和総研 産学連携室

大澤 秀一 氏

▶9事例(帯広信金、青い森信金、岩手銀行、米沢信金、山 梨中央銀行、山陰合同銀行、十八銀行、鹿児島銀行)より、 学金連携の取り組みの差・温度差について議論

参考:経済産業省東北経済産業局 http://www.tohoku.meti.go.jp/koho/report/22_chiikikeizai.html

研究会活動 第7回

日程:平成23年9月21日(水)

分析

把握

会場:東京海洋大学越中島キャンパス

講演会実施

「リレーションシップバンキング(地域密着型金融) についての考え方」

講師:アビームコンサルティング株式会社 顧問 多古 秀人 氏

・講師による地域密着型金融機関事例の紹介と、そこから得 られる中小企業金融円滑化と収益モデルの考察

参加者による産学連携に対する金融機関の環境変化に関 する議論

学会活動

日程: 平成23年6月16日(木)~17日(金)

会場:佐賀市アバンセ

- 研究会活動をパネル発表
- ・研究会会員による一般講演3件、ポスター セッション1件の計4件の研究成果を発表
- 経済産業省事業を活用した「産学官金連携システム米沢」 モデル」の課題と展望
- 金融機関収益モデルとしての地域密着型金融の可能性と 産学金連携の課題

ウ

蓄積

情報の整理

- ・グローバル時代における地域産学金連携の取り組み
- •研究会活動報告

研究会活動の発表

日程: 平成23年8月26日(金)

会場:経済産業省経済産業研修所

・経済産業省「地域金融機関と中小企業支援施策 の連携強化に関する研修会」において、研究会活 動ならびに全国アンケート調査実施結果の概要を 発表

- 学会研究会活動の経緯
- ・学金連携に関するアンケート結果に基づく現状認識
- ・システム構築にむけて(山形県米沢の事例から)
- (1)コーディネータ研修(人材育成)
- ②学金連携システムネットワーク
- ③ビジネスソリューション

システム化

モデル化

今後

地域産業の活性化等を目指し取り組まれている より多くの産学官金連携の活動実態把握

更なる全国を 充 実 態 調 査

事例分析•類型化

フェーズ・段階把握

解析•検討

会員の増大を図りながら、より多くの事例を集約

推進するためのモデル形成 学金連携を効果的に